

こころ

山口県立こころの医療センター-広報誌

だより

特集

大規模を想定した
災害訓練について

病院の理念

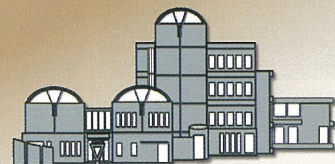
県民の心の健康を支える
質の高い医療の提供



みなさまにとって良い一年になるように、職員が毎年工夫して作っています。

- 令和3年を迎えて
- ストレスについて
- 認知症疾患医療センター研修会お知らせ
- 診療のご案内

編集：広報委員会
発行：山口県立こころの医療センター
山口県宇部市東岐波4004-2
TEL:0836-58-2370（代表）



地方独立行政法人
山口県立病院機構

特集

大規模地震を想定した災害訓練について

近年、東日本大震災や熊本地震のように甚大な被害をもたらした地震を始め、日本各地で地震が頻発しています。

山口県では 2014 年伊予灘を震源とするマグニチュード 6.2 の地震が起きています。愛媛県西予市で最大震度 5 強を観測し、山口県内でも柳井市、平生町、防府市、下松市で震度 5 弱、岩国市、山口市、宇部市、下関市、萩市など広範囲で震度 4 を観測しました。この地震では住居の一部破損は 4 県で 26 棟(内、県内 1 棟)あり、幸いなことに亡くなられた方はおられませんでしたが、6 県で 21 人の重軽傷者(内、県内 1 名重症)が出ました。山口県は地震が少ないと言われていますが、地震は起きるし、地震が起きないという保障はありません。

当院では昨年、大規模な地震を想定した BCP (Business Continuity Plan : 事業継続計画) を作成しました。BCP とは災害などの緊急事態が発生した時に企業が損害を最小現に抑え、事業の継続や復旧を図るため計画のことです。この BCP を用いて「BCP に沿って被害状況に対応し、病院機能を維持できる能力を養う」こと、「BCP に基づいた適切な災害対応が可能か検証する」ことを目的に、10 月 24 日に災害訓練を行いました。

災害訓練は大原湖断層を震源とする震度 6 弱の地震が発生したという想定でした。館内放送で訓練開始を告げると、それぞれの役割のもと行動を開始しました。当院の BCP の基本方針は「1. 人命最優先」「2. 被害の拡大防止」「3. 地域との協調・地域貢献」です。地震が起きたら、まずは自分の身の安全を確保します。入院棟では、揺れがおさまってから周囲の状況を確認し、患者さんや建物の確認を行います。訓練では実際に患者さんや建物を確認して回りました。管理部門では災害対策本部を立ち上げ、有事の指揮命令系統を確立します。今回、院内 PHS が使用できない設定としました。災害対策本部からの伝達や各部署からの報告は全てその場に赴いて伝えることになりました。院外との連絡も、病院の被災状況について EMIS (広域災害救急医療情報システム) へ入力したり、衛星電話を使用して外部機関への連絡をとったりする練習を行いました。それぞれの役割を認識し、速やかに動く事ができていました。

今回の訓練で BCP の改善・修正点が多く確認できました。実際に地震が起こると物が散乱して速やかに動けなかったり、職員も患者さんも混乱したりして訓練の様にはいかないと思います。有事の際にも落ち着いて行動できるように、これから BCP を改善・修正し、訓練を重ねていきたいと思います。

災害訓練準備チーム



令和3年を迎えて

新年を迎え、日頃より皆さまからいただいていたご支援やご協力に、改めて感謝申し上げます。新たに迎える令和3年が、皆さまにとって、平穏で豊かな日常を享受できる1年となりますように、心より願っております。

毎年恒例で新年のご挨拶を申し上げてきましたが、1年を振り返って、これほど強く隔世の感を覚えた年はありません。新型コロナウイルス感染症は、我々の社会生活を大きく変えてしまい、医療機関にも、感染対策は緊迫した課題として重くのしかかっています。当院は、県内唯一の公的精神科病院として、新型コロナウイルス感染症の医療連携体制における役割を担うため、令和2年5月に専用病床を整備し、PCR検査機器の導入など、様々な対策を進めてきました。新型コロナウイルス検査に陽性で、無症状ないし軽症の方が、精神科入院を要する精神症状を伴っている場合、県内全域に対して当院は受け入れの責務を担っています。

しかし、この冬期に急な感染拡大が生じた場合、当院のみならず県内の感染症病床の受け入れ態勢の破綻も危惧されます。また、病院内のクラスター発生は、どんなに対策を講じて、時に防ぎようもなく襲われる災害です。我々1人1人が意識を高めて、飛沫と接触感染に対する標準予防策を徹底することが求められています。当院の感染対策では、感染制御チーム(ICT)や看護部が積極的に活躍しており、職員一同がそれぞれの役割を担っていることを誇りに思っています。

当院の理念は、「県民の心の健康を支える質の高い医療の提供」です。メンタルヘルス(心の健康)は、感染症の脅威に襲われた現代社会のさまざまな局面でますます重視されています。当院で働く職員は、心の病気を抱える方々の治療や支援に携わる専門職としての矜持を保って、当事者・ご家族と誠実に向き合い、安心・信頼・希望を高めるように関わらせて頂きます。新年もどうぞよろしくお願い致します。

かねゆき ひろし
院長 兼行 浩史

ストレスについて

第2回目は「ストレス」です。最近では新型コロナウイルス感染予防のため新しい生活様式となり、知らず知らずのうちにストレスを感じているかもしれません。ここ1ヶ月を振り返り、このようなことはありませんか。

身体面

- 肩こりや頭痛が続く
- 動悸や息苦しさがある
- 寝付きが悪い、よく眠れない
- お腹の調子が悪い
- 食欲がない
- 気がついたら食べ過ぎている

精神面

- 些細なことで腹が立ち、イライラする
- 意味もなく不安
- ひどく疲れる
- すぐカッとして怒りやすい
- 物事に集中できない
- 気分が晴れない、憂鬱

行動面

- 仕事や家事が手につかない
- 人に会う事が億劫に思える
- 酒の量やたばこの本数が増えた

あてはまるものはありましたか。ストレスを感じると身体面や精神面、行動面にも影響が表れます。自分のストレスサインに気づき、上手に付き合うことはこころや身体の健康を保つためにもとても大切なことです。

こころや身体の健康のために

- 一息つく時間を作りましょう。無理をしすぎではありませんか。日々の中で1時間でも気分転換したりゆっくりくつろぐ時間を作りましょう。
- 一人で抱えず誰かに話してみましょ。親しい友人や家族に話したり、身近な人に話せないときは専門家に相談するのもいいでしょう。

看護部

認知症疾患医療センター合同研修会

総合テーマ「キュアとケアの視点から認知症を理解する～ともに創る私たちの地域～」

日時：2020年2月21日(日) 13:00～16:30

形式：リモート研修 (Zoomウェビナー)

目的：かかりつけ医をはじめとする保健・医療・福祉関係者及び支援者等へ認知症に関する研修を行うことにより、地域における保健医療水準の向上を図るとともに、関係者間の連携強化を目的とする。

対象：医療・保健・福祉関係者及び支援者、学生

内容：講演1 <キュアの視点から>

『レビー小体型認知症の臨床&認知症の四方山話』

≪講師≫国立病院機構柳井医療センター

認知症疾患医療センター

宮地 隆史 センター長

講演2 <ケアの視点から>

『人の支援を受け入れて生きていく自律』

≪講師≫国立長寿医療研究センター

長寿医療研修センター

研修開発研究室長 牧 陽子 氏

主催：山口県、いしい記念病院、柳井医療センター、泉原病院、県立総合医療センター、
県立こころの医療センター、下関病院、萩病院、三隅病院

共催：山口県医師会

※参加をご希望の方は、こころの医療センターホームページ (<https://y-kokoro.jp>) からお申し込みください。



■お問い合わせ

山口県立こころの医療センター内
認知症疾患医療センター(坂本・山本)
TEL: 0836-58-5950

診療のご案内

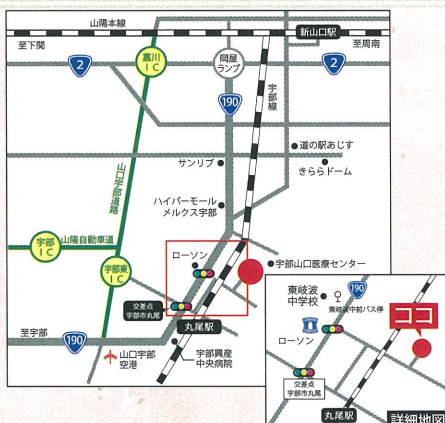
外来診察担当医							
初 診				再 診			
月	(物忘れ・高次脳) 兼 行	(一般) 角 田		磯 村	藤 田	(禁煙、第1・第3) 藤田・新造	
火	(児童・思春期、一般) 村 田			青 島	坂 倉		
水				兼 行	村 田	新 造	青 島 坂倉 (AM) 山田 (PM)
木	(依存症) 藤 田	(一般) 新 造	(児童・思春期) 青島 (AM)	兼 行	角 田	山 科	
金	(一般) 坂 倉			藤 田	青 島	山 田	

初診・再診とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてご来院ください。

外来直通電話：0836-58-2327



交通のご案内



お車/山口宇部道路「宇部東IC」より丸尾方面へ約5分

電車/JR宇部線「丸尾駅」より徒歩約15分

バス/宇部市営バス「東岐波中学校前」より徒歩10分

地方独立行政法人 山口県立病院機構

山口県立こころの医療センター

〒755-0241 山口県宇部市東岐波4004-2

TEL: 0836-58-2370 (代表)

: 0836-58-2327 (外来直通)

FAX: 0836-58-6503

こころの医療センター

Q 検索

<https://www.y-kokoro.jp/>

